

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: RST X-1 SQUAD

COLOR: NAVY / MAGENTA / BLACK

WEIGHTBLOCK : RST CORE

COVER STOCK: eTRAX-P20™ PEARL REACTIVE

RG : 2.53 ΔRG:0.053 ID:0.016 (15P)

FACTORY FINISH: 1500-GRIT Polished

TRACK FLARE POTENTIAL: HIGH

BACK END:15 (1-20) MAX LENGTH : 16 (1-20)

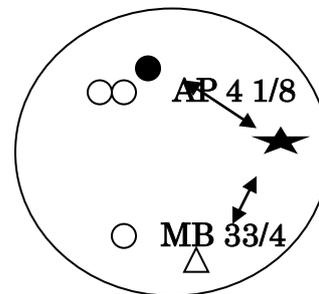
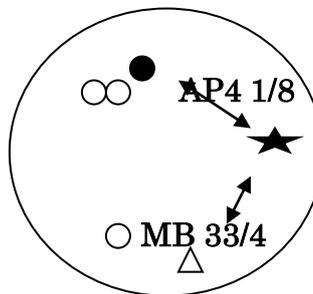


2021年1月20日

レイアウト例

RST X-1 SQUAD

RST X-1



CA55度

CA55度

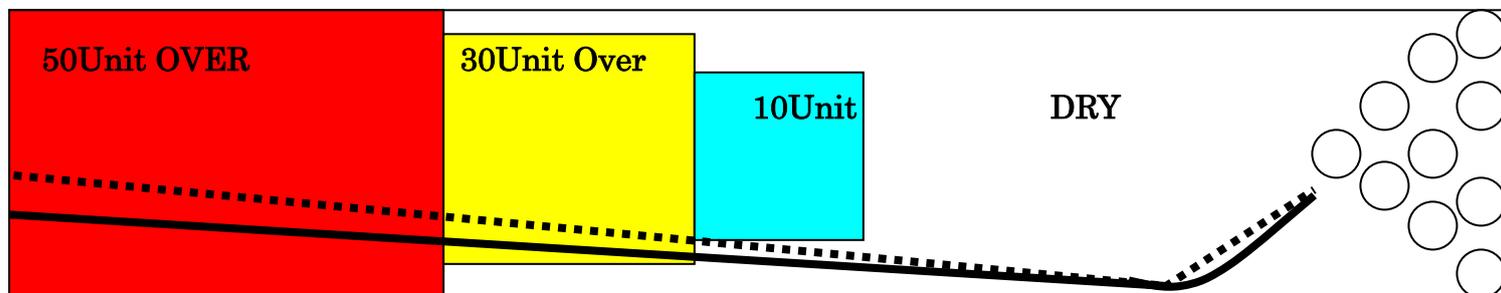
フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 3/4 ・

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【ミディアムレーン 編】



0F

15F

37F

40F

比較品ライン

RST X-1 SQUAD

RST X-1

【レーン状況】 ベースコンディションはミディアムクラスのレーンですが、ゲーム数が8ゲーム程消化しているのでキャリーダウンが多少あります。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○					△	

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)



【ボール総合評価】

初代は爆発的に存在感を示しコア RST のブレークポイントで止まる感じとピンに力強く寄って行く曲がり方が印象的でしたが、今回は ROTOG RIP の中でも中間より下の摩擦係数である e-TRAX P20 パールを被せた事で直進性能がグレードアップしました。パール素材ですが暴れる印象が無く、投げ易さを前面に出しているボールだと思います。左右のオイル段差も感じづらい印象です。

【石原プロの使い方と性能説明】



RST コア本来が持っている性能は走りときれを生むところですが慣性数値よりは転がり出しはレーン中間からでオイルの、オイルの薄い箇所とドライの箇所での曲がり方に差を感じづらいボールでした。パールというよりハイブリッドの感覚の方が近い印象で、バックエンドも転がりに継続性があるので曲がり終わらない感じでした。前作とはイメージが違いミディアム～ミディアムドライ系のコンディショニングで威力を発揮しそうです。

2021年4月下旬販売予定 テスト協力: アイビーボウル向島 テスター: 石原 章夫プロ(11期)